

# Niigata SME Information

にいがた中小企業情報

## Feature articles

- ◆通常総会の開催・事務手続き等について～手順をおさらい～
- ◆新潟UBA(新潟県中小企業青年中央会) 令和7年度下期活動報告



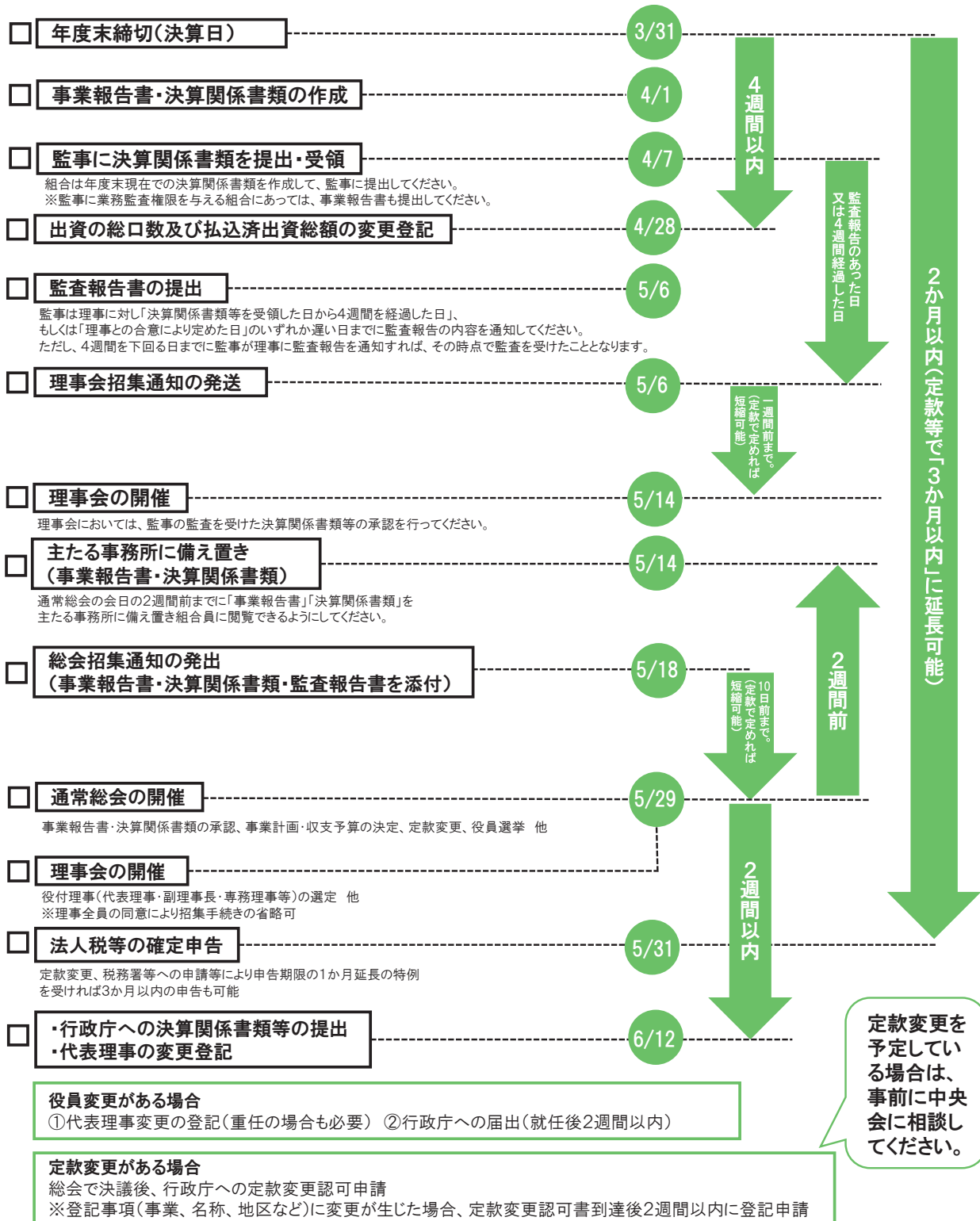
上堰瀧公園の菜の花と桜（新潟市）

# 通常総会の開催・事務手続き等について～手順をおさらい～

多くの組合では年度末を迎えました。事業年度終了後及び通常総会終了後に組合が行わなければならない基本的な事務手続きの流れについてご案内します。

※法令に定める開催要件を全て記したのではなく、一般的な手続きの流れとなります。また、各組合の状況により流れが異なる場合がありますので、詳細やご不明な点等は各組合担当者までご相談ください。

## <事業年度末を3/31、理事会を5/14、通常総会を5/29と想定した場合>



## 事業承継セミナーを開催しました！～新潟県公衆浴場生活衛生同業組合～

**令**和5年12月の法改正で生活衛生関係営業における事業譲渡の手続きが整備されたことを受け、新潟県公衆浴場生活衛生同業組合では、令和8年1月19日（月）にクロスパル新潟にて、事業承継をテーマとしたセミナーを開催しました。当日は、東京都荒川区にある人気銭湯「日暮里斉藤湯」の四代目で中小企業診断士でもある齊藤裕一氏を講師に迎え、制度改正のポイントや承継後の経営の考え方について分かりやすく解説していただきました。参加者からは、手続きの流れが整理されたことで事業承継をより身近に感じられたとの声が聞かれました。

また「日暮里斉藤湯」の承継後の取り組み事例の発表では、地域に求められる銭湯の価値を見つめ直し、強みを活かしながら改善を重ねていく姿勢や、費用を抑えた集客の工夫、補助金を活用した修繕の実践など様々な観点からのお話があり、参加者にとって多くのヒントが得られる有意義なセミナーとなりました。



## 中央会トピックス

### これで安心！労務に関する実務セミナーを開催

**令**和8年1月15日（木）にホテルグローバルビュー新潟で、労務関係をテーマに「これで安心！労務に関する実務セミナー」を開催しました。当日は、社会保険労務士法人 大矢社労士事務所代表社員の矢和也氏を講師に迎え、労働社会保険諸法令の基礎から最新の法改正対応まで、実務に即した内容でご講演いただきました。

講演では、求人・採用から退職に至るまでの社会保険・労働保険の適正な手続きに加え、令和6年4月施行の労働条件明示ルールの変更や、令和8年を見据えた年金制度改正への対応について解説がありました。特に、役員の社会保険の取扱いや、算定方法による保険料負担の考え方など、実務上の注意点が具体的に示されました。

参加者からは「日頃の手続きの見落としに気づくことができた」「法改正への備えとして非常に参考になった」との声が寄せられ、適切な労務管理体制の重要性を再認識する機会となりました。



## 「新潟政労使会議」に本間副会長が出席

**令** 和8年2月19日（木）、新潟県自治会館において「新潟政労使会議」が開催されました。

令和7年6月13日に閣議決定された「新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画2025年改訂版」において、賃上げの流れが地方にも波及するよう、地方版政労使会議を引き続き開催することとされたところです。地方版政労使会議は、行政機関や労使団体、経済団体の代表者が一堂に会し、地域における賃金引上げの機運醸成を目的として、全国の都道府県で開催されているものです。

これを受けて、新潟労働局（局長 福岡 洋志）において、新潟県、労働者団体、事業者団体等のトップ等を参集し、「新潟政労使会議」を開催し、賃金引上げに向けた環境整備の取り組みや課題等について意見交換が行われました。

当会からは、本間副会長が出席し、「令和8年1月1日から施行された取適法の周知や価格転嫁の推進に取り組んできたが、依然として十分とは言えず、賃上げに必要な収益確保は厳しい状況にある。」と発言しました。また、当会の調査では価格転嫁ができた組合は62%に留まり、そのうちすべて転嫁で



きた組合は30%に留まるなど、依然として中小企業にとって厳しい経営環境が続いていることを説明しました。

さらに、人手不足も大きな経営課題となっていることに触れ、「中小企業が賃上げできる環境を整備するためには、政労使会議において連携し、価格転嫁の推進や付加価値向上に向けた取り組みを進めていくことが重要である」との意見を報告しました。

### 【参加団体】

- ・新潟県
- ・新潟県社会保険労務士会
- ・日本労働組合総連合会新潟県連合会
- ・新潟県市長会
- ・新潟県経営者協会
- ・新潟県町村会
- ・新潟県商工会議所連合会
- ・経済産業省関東経済産業局
- ・新潟県商工会連合会
- ・公正取引委員会事務総局
- ・新潟県中小企業団体中央会
- ・厚生労働省新潟労働局
- ・新潟経済同友会

## 第8回「新潟県公民協働プロジェクト検討プラットフォーム」に

高橋副会長が出席

**令**和8年2月9日（月）、新潟県自治会館において、第8回「新潟県公民協働プロジェクト検討プラットフォーム」が開催され、花角英世新潟県知事、中原八一新潟市長をはじめ、当会から高橋副会長が出席しました。



「新潟県公民協働プロジェクト検討プラットフォーム」は、新潟県が掲げる「住んでよし、訪れてよしの新潟県」の実現に向けて、本県が抱える様々な困難な課題への対応やさらなる魅力づくりについて、公と民が率直に議論し、知恵を出し合っ具体的行動に結びつけていくことを目的に開催されています。

高橋副会長からは、県内中小企業における人材確保の現状と、当会および会員組合の取り組みについて説明しました。昨年実施した新規学卒者採用に関する調査結果では、採用を計画し実際に採用できた企業が16.1%にとどまっており、若年人材の確保が非常に厳しい状況にあること、さらにこうした課題を踏まえた取り組みとして、県内組合では出前授業や体験会を通じた早期の業界理解の促進、高校生向けインターンシップの実施、SNSやホームページ等を活用した求人支援の事例を紹介しました。

また、特定地域づくり協同組合の設立支援と人材派遣の取組を通じ、1ターンによる就職や独立といった成果が生まれていることにも触れ、今後も関係機関と連携しながら、地域産業を支える人材確保に取り組んでいく考えを示しました。

## 協会けんぽよりお知らせ

### 令和8年3月分(4月納付分)からの 保険料率のお知らせです

#### 健康保険料率

現行	令和8年3月分
9.55%	9.21%
(全国平均保険料率の0.1%引下げ効果を含む)	

#### 介護保険料率

現行	令和8年3月分
1.59%	1.62%

#### 子ども・子育て支援金率

令和8年4月分より新たにスタート
0.23%

※令和8年4月分(5月納付分)より子ども・子育て支援金制度が始まります。※健康保険料、介護保険料、子ども・子育て支援金は労使折半となります。  
※40歳から64歳までの方(介護保険第2号被保険者)には、健康保険料率と子ども・子育て支援金率に介護保険料率が加わります。  
※異年については、支給日が3月1日分から変更後の保険料率が適用されます。※任意継続被保険者の方は、令和8年4月分の保険料率から変更となります。

## - 令和7年度第1回組合青年部研修会 -

**令**和7年11月7日(金)、米百俵プレイス ミライエ長岡において「令和7年度 第1回組合青年部研修会」を開催いたしました。

今回は、トラストラボ株式会社 代表取締役の河合里美氏を講師にお招きし、「生成AIの基本と活用方法 ～AI新法を踏まえた安全かつ効果的な活用戦略～」というテーマでご講演いただきました。

急速に進化を遂げ、今やビジネスに不可欠となりつつあるAI技術について、その基礎知識から実務への具体的な導入手法に至るまでを学習する貴重な機会となりました。

講義ではChatGPTをはじめとする生成AIの最新動向と、それらがもたらす業務効率化の可能性について解説がありました。

さらに、現在検討・施行が進められている「AI新法」に焦点を当て、企業が遵守すべき法的枠組みやコンプライアンス上の留意点を詳しく解説いただきました。

参加した青年部メンバーからは、自社の業務に即した具体的な質問もいただき、AIを「単なるツール」としてではなく、「戦略的なパートナー」としていかに安全に実装していくか、各々が真剣に考える有意義な研修会となりました。

今後もこうした最先端の知見を共有する場を設け、会員の皆様のさらなる発展に寄与してまいります。



## - 2025年度 組合青年部全国講習会 -

**令**和7年11月14日(金)、岩手県「ホテルメロポリタン盛岡ニューウイング」において、2025年度組合青年部全国講習会が開催されました。

当日、独立行政法人情報処理推進機構(IPA)セキュリティセンター普及啓発・振興部普及啓発グループ 白川浩氏より「リスクマネジメントと情報セキュリティ対策」と題して、ご講演いただきました。

講義では、デジタル社会における企業経営のリスク管理の重要性について、最新の被害傾向を交えながら解説いただきました。

特に、身近なネットワーク環境の脆弱性が重大な情報漏洩やシステム障害を招く危険性に触れ、経営者・後継者として備えておくべき防犯意識と、組織的な対策の必要性を改めて認識する機会となりました。

万が一の事態に直面した際の適切な判断基準や、対応の在り方についても指針が示され、参加者にとって自社のセキュリティ体制を再点検するための有益な学びとなりました。



また、同時開催の懇親会ではブロック対抗わんこそば大会が開催され、各ブロックの代表者へ送られる熱い声援とともに、地域を越えた青年部同士の絆がより一層深まるひとときとなりました。



－ 令和7年度第2回組合青年部研修会 －

**令**和8年2月10日(火)、新潟ジョイア・ミーアにおいて「令和7年度 第2回組合青年部研修会」を開催いたしました。

今回は、NPO法人はねうまネットワーク代表理事 東 智隆氏を講師にお招きし、「地域の担い手確保、人を呼び込むメソッド～場所を居場所に、土地と人をつなげ地域を醸していく～」というテーマでご講演いただきました。

講演では、季節ごとの労働需要の変化を組合が吸収し、移住者に通年の安定した雇用を提供する「特定地域づくり事業」の先進的な取り組みについてご紹介いただきました。

東氏は「妙高はねうま複業協同組合」を運営されるなど、地方創生のフロントランナーとして尽力されており、特筆すべきは、同組合が設立からわずか一年で県内最大規模へと成長し、移住者やその家族が地域に定着するという確かな実績を上げている点です。

既存の枠組みに捉われない柔軟な就労環境の構築は、2025年の「新潟県SDGsアワード」大賞受賞という高い評価にも繋がっています。

これまでの常識にとらわれない人材活用や官民共創の重要性を再認識する機会となりました。



－ 令和7年度第2回関東甲信越静岡ブロック 中小企業青年中央会 代表者会議 －

**令**和8年2月27日(金)、神奈川県「ロイヤルホールヨコハマ」にて令和7年度第2回関東甲信越静岡ブロック中小企業青年中央会 代表者会議が開催されました。

当日上程された議案は全て原案通り承認されました。また、各都県より近況報告があり、周年事業等の周知がなされ、新潟県からは倉田会長が令和8年9月11日(金)、「ホテル日航新潟」において開催予定の「新潟県中小企業青年中央会創立50周年記念行事」の周知を行いました。



後段のビジネス研修では、株式会社インソースの近美智子氏を講師に迎え、「チームビルディング～ドミノ電鉄で学ぶ」と題した演習が行われました。

本研修は、「ドミノ」を用いた体験型、ビジネスゲーム型研修となり、参加者は、主に「チームワーク」、「仕事の進め方」、「コミュニケーション」、「PDCAサイクル」といったチームビルディングには不可欠な力を座学とゲーム形式の演習を通して学ぶことができました。



新潟県中小企業青年中央会では会員を募集しています！青年部が無い組合も、個人での加入が可能です。ご興味がある方は連携推進課までご連絡ください。

多様な「なりわい」が地域経済を支える！

～村上市複業協同組合なりわいネット～

**由**かな自然と文化を誇る村上市ですが、現在は人口減少と  
**豆**少子高齢化という大きな荒波の中にあります。過去16年  
で人口の約2割、事業所の約2割が失われ、産業の担い手不  
足は深刻な状況です。また、「働きたい人」と「人手を求める事  
業者」がいる一方で、季節性や経済的要因による「雇用のミス  
マッチ」が、地域の活力を削いでいました。

私たちはこの現状を打破するため、移住者と地域が共に歩め  
る新しい仕組みとして「村上市複業協同組合なりわいネット」を  
立ち上げました。

特定地域づくり事業協同組合制度を活用し、複数の仕事を組  
み合わせることで「通年雇用」と「多様なキャリア」  
を両立させたいと考えています。農業から漁業、観  
光業まで、業種の垣根を越えた官民連携のネット  
ワークにより、一人ひとりが自分らしい「なりわい」を  
営める、持続可能な地域経済を目指します。



組合概要

住所：新潟県村上市吉浦1456番地1  
代表理事：渡辺 美紀子  
組合員数：15名  
事業：特定地域づくり事業としての労働者派遣事業

組合メッセージ

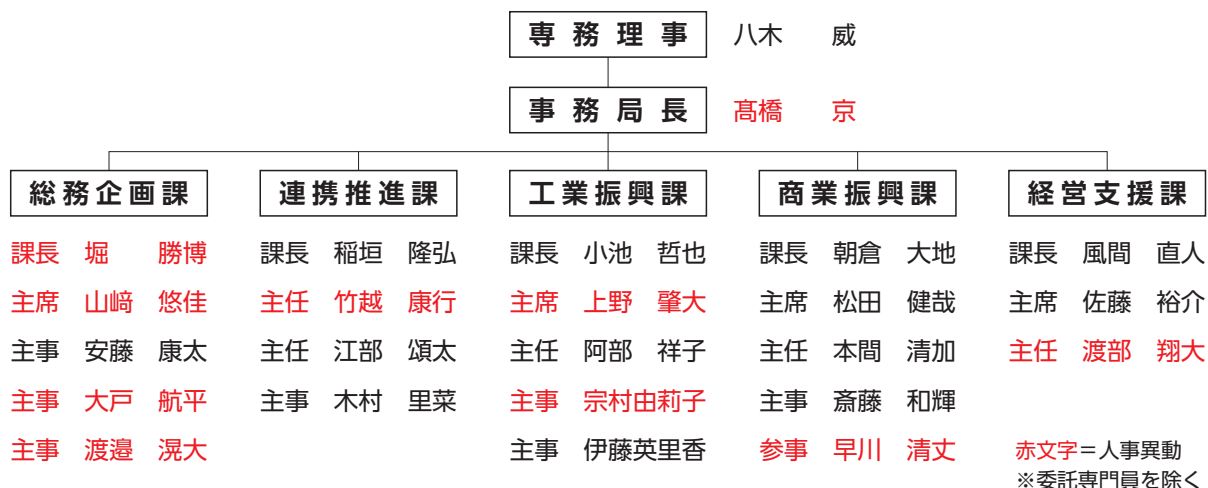
設立に際し、多大なご尽力をいただいた関係各所の皆様に厚く御礼申し上げます。多様な業種の組合員の皆様と手を携え、村上市の強みを活かした新しい働き方を定着させることで、移住者と地域社会が共に輝ける未来を切り拓いていく決意です。

代表理事：渡辺 美紀子



令和8年度中央会事務局組織のお知らせ（令和8年4月1日付）

当会では、令和8年4月1日付で事務局の人事異動を行いました。事務局一同、今年度も一層の会員サービスの充実を図ってまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。



執筆者

## 飽津 史隆(あくつ ふみたか) 弁護士

【経歴】

平成13年検事任官。平成29年に弁護士に転身し、あくつ法律事務所において、刑事事件、企業法務、一般民事・家事事件等を扱う。



## 理事会、総会の議事録の備置き期間について

**理**事会、総会の議事録の備置き期間については、いずれも10年間とされています（理事会議事録については、中小企業等協同組合法36条の7第3項。総会議事録については同法53条の4第3項）。

この「備置き」とは、組合員や組合の債権者が閲覧・謄写を求めれば、業務取扱時間内であれば、いつでも対応できる状態で保管する（中企法36条の7第5項、53条の4第4項）ことを意味しています。

**で**すから、実務では、理事会、総会の議事録については、それぞれ別のファイルで保存し、いつでも取り出せる場所で保存する必要があります。

もともと、これらの規定は、理事会、総会の議事録の「備置き」の期間を規定しているのみで、その保存年限を定めた規定ではありません。

**で**は、理事会、総会の議事録の保存年限は何年なのでしょう。

例えば、法人は、総勘定元帳、仕訳帳、現金出納帳、売掛金元帳、買掛金元帳、固定資産台帳、売上帳、仕入帳などといった帳簿を備え付けてその取引を記録するとともに、その帳簿と取引等に関して作成または受領した書類を、その事業年度の確定申告書の提出期限の翌日から7年間保存しなければならないと規定しています（法人税法126条、法人税施行規則59条）。

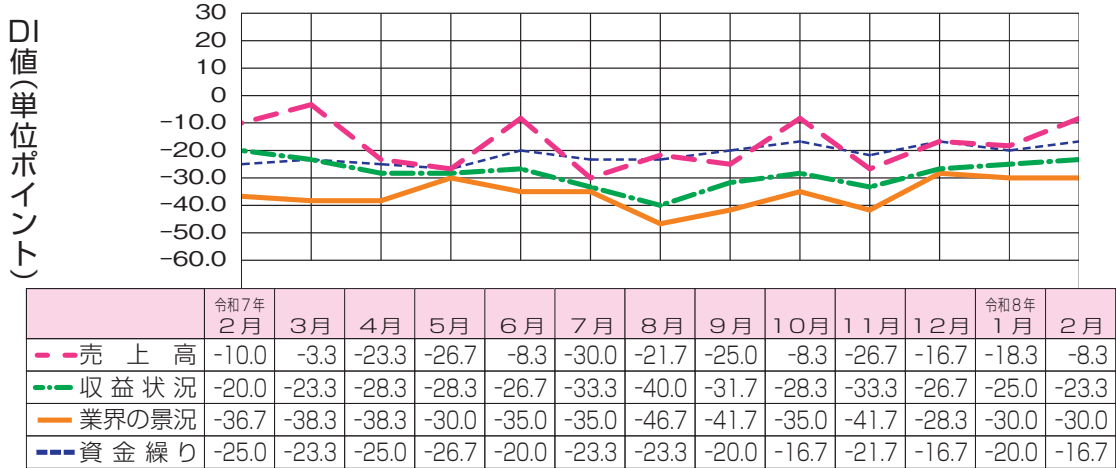
中企法には、理事会、総会の議事録の保存年限に関する規定はありませんが、当職の経験からしても、できる限り長期間の保存が望ましいと考えています。

**現**在は、理事会、総会の議事録は、電磁的記録で作成することも許されています（中企法36条の7第2項、同法53条の4第3項）が、その保管方法には十分な注意が必要です。

例えば、USBメモリーであれば、数年間通電しないだけで、保存されたデータが消失する可能性がありますし、DVDに焼き付けたとしても、その保存状態によっては、10年程度でDVDが物理的に破壊されてしまうこともあります。

理事会、総会の議事録は組合にとって極めて重要な書類ですから、保存年限、保存方法に十分な注意を払っていただければと思います。

業界の景気動向（前年同月比）全業種DI値（令和7年2月～令和8年2月）



## 概況

2月のDI値は前月と比べ、3項目改善、1項目不変となった。「売上高」DI値は10.0ポイント改善のマイナス8.3ポイント、「収益状況」DI値は1.7ポイント改善のマイナス23.3ポイント、「資金繰り」DI値は3.3ポイント改善のマイナス16.7ポイント、「業界の景況」DI値は±0のマイナス30.0ポイントとなった。

前年同月比でみると、3項目改善、1項目悪化となった。「売上高」DI値は1.7ポイント改善、「業界の景況」DI値は6.7ポイント改善、「資金繰り」DI値は8.3ポイント改善、「収益状況」DI値は3.3ポイント悪化となった。

## 製造業

### 食料品

**新潟県漬物工業（協）** フリーズドライの漬物の市販化を目指す取り組みが、徐々に現実味を帯びてきた。まず名前がフリーズドライ漬物ではなく、「POCKET TSUKEMONO」、略して「PKTK（ポケつけ）」となり、正式にパッケージを付け酒の陣で改めてのお披露目となった。これからは漬物を室内に限らず外先でも楽しめるよう、漬物の新しい楽しみ方として展開していきたい。

**新潟県米菓工業（協）** 国内産原料米価格の高止まりに加え、原料米（主にもち米）が不足しており、海外産の原料米の利用に踏み切る企業が出てきている。

### 木材・木製品

**魚沼木材（協）** 現場が降雪のため動かすなかなか厳しいが、雪害などの影響で春先からは現場が動きそう。ただし、全体的な話は少ない様に感じるので、仕事を確保するように動いていきたい。また、このままでは業界全体が厳しくなることはわかっているので、持続的な活動として建築業の行く末を考えながら動いていきたい。

**新潟市建具（協）** 2月は組合員により差があるが、全体的には前年と同じ程度の売上となっている。今月以降、原材料の値上がりが続くため、販売価格がさらに上昇すると思われる。

**佐渡木材工業（協）** 原木の動きは鈍い。業界として活気のあるところと動いていないところで二極化している。組合の中の動きがわかるように、SNSや組合だよりを作成して情報発信をしている。先日、木材の展示会に出展し地域材の認知度の低さを感じたが、それ以上にまだまだPRの可能性があるので、これからも情報発信とPRに力を入れていきたい。

### 窯業・土石製品

**新潟生コンクリート（協）** 令和8年2月の生コン出荷量は前年同月比109.75%。令和8年2月の累計は前年度比108.31%。

**北越生コンクリート（協）** 2月の出荷は、見直し後の想定数量以上の出荷となった。前年対比76%とまずまずの結果である。高速関連が予定通り施工されたことや、当地区は降雪、積雪が思いのほか少なかったことも要因の1つと思われる。

**長岡地区生コン事業（協）** 2月出荷量は約2,900m<sup>3</sup>、前年比73%、

4月～2月出荷量は約9万7千m<sup>3</sup>、前年比129%。年間出荷量は前年を上回ったが、2月単月では前年を下回った。要因は、1月下旬～2月上旬の豪雪によるもの。令和8年度の価格表を配付し、周知を行った。コンクリート価格は据え置き、割増加算額を変更。

### 鉄鋼・金属

**日本金属ハウスメア（工）** 業界全体としては依然低調に推移している。家庭用はもちろん、業務用も低迷している。資材価格や人件費などが上昇し、価格転嫁を進めた影響もあり、売上は伸び悩んで、収益性は低下している。先行き不透明が続いている。

**（協）三条金子新田工場団地** 2月は寒波が長引いて降雪も多く、除雪用品の売上は増加した。全体としては下請け企業の事業縮小や個人の廃業が多く、製造の安定化のため、内製化を検討している先が目につく。問題は人手と設備投資であるが、中東の紛争がどこまで景気に影響を与えるか、不安を抱えている企業が多い。

**新潟県鉄骨（工）** 副資材価格や消耗品費の上昇分が加工費を圧迫し、収益は厳しい状況が続いている。現在、首都圏物件をメインとする大規模工場やその協力工場の稼働率は平均水準を保っているが、地元物件に頼っている小規模工場の稼働率は低く、二極化が目立つ。収益状況・資金繰り悪化の回答が増えている。建設費の高騰で、全国的に計画中止・延期の物件が増えている。見積件数及び引合い物件が少ない。首都圏物件の再開発物件も動きが悪く、今年も厳しい需要環境である。鉄骨需要は3年連続で400万トンを下回り、大変厳しい状況。

### 一般機器

**十日町鉄工業（協）** 少しは価格転嫁もできてきた。

**加茂鉄工業（協）** 新年になり、一部業界（半導体関連）に動きが出てきたようで、仕事が増えている企業（事業所）があるようだ。その他は依然として低調である。

**長岡鉄工業（協）** 景気調査の見通しでは、引き続き先行きは厳しく、特に製造業は厳しいという予測もある。世界情勢も中東の混乱がどのような影響を及ぼしてくるのか見通しのかかない状況である。そのなかでも、我々製造業は人への投資を実施して先行していかなければならず、人件費の増加が重い負担になってくる。そんななか、企業へのサポートがますます急務になってくる。

**上越鉄工（協）** 人手不足により生産がままならない。売上は販売価格のUPで増えたが、資材費など的高騰で収益としては厳しい状況。

## 非製造業

### 卸売業

**新潟青果卸売（協）** 卸の取扱い量は前年並み、キロ単価は昨対90%だが、前年が品不足・単価高だったので、流通量が少ないことは変わりが無い。一部を除き、卸からの仕入も前年より少ない。全体に、2月の取引は低調だったようだ。

**新潟花き卸売（協）** 需要の低下から、菊類は産地の生産・出荷が減るも、小売店の動きが鈍く単価安に。バラ・カーネーションなどの洋花類は、気温の寒暖差が大きかったことで前進出荷気味となったが、こちらも小売店や量販店の需要がなく、厳しい販売状況だった。総入荷数は昨年比101%、販売金額は85%だった。

**新潟県袋セメント卸（協）** 2月の出荷実績は、前年同月比で84.3%と前月に比べても大幅な減少となった。大雪の影響で工事が滞っていることも考えられるが、あと1か月で多少の挽回を期待したいところである。4月～2月の今年度の累計出荷数量は前年度比95.1%となり、当初の想定数量は維持しているものの、まだ予断を許さない状況ではある。

#### 小売業

**新潟県化粧品小売連合会** 2月は大雪にもならず、お客様の来店数も増えた。1月が売上減だったので、その反動もあるものと思う。良かった。

**新潟県スポーツ用品小売商（協）** 新1年生の体操着など、繁忙期が続いている。公立高校の定員割れ、人口減少があり、売上減少が予想される。

#### 商店街

**加茂市商店街（協）** 2月は雪槽スタンプの売上が前年同月比で75.5%と、引き続き厳しい月であった。原因として、組合員の減少と買い物物の市外への流出が考えられる。

**上越市本町四丁目（商振）** ゆめカード売上高は前年同月比93.33%。駐車場利用売上高は前年同月比113.27%。

**長岡市商店街連合会** 寒波の影響で、前半は来街者が少なかった。また、大雪によりアーケードの倒壊も起きた。昨年までハイブ長岡で開催していた「雪しか祭り」が今年よりアオーレ長岡で「なかおかウィンターフェス」とリニューアルして2月21日、22日に開催された。幸い天候に恵まれ、2日間で25,000人と多くの来場があった。商店街回遊の企画もあったため、商店街への波及効果も得られた。

**新潟市上古町（商振）** 商店街の空き店舗が埋まり、活況を呈している。人流の増加が感じられる。

**（協）一ノ木戸商店街** 2月度は「売上高」で前年同月に対し増加の店舗11%、不変56%、減少33%、「収益状況」は好転0%、不変78%、悪化22%で、「スタンプシールの売上」は昨対93%、「スタンプ帳の回収」は昨対162%である。2月11日に当商店街の「新年会」を行ったが、参加者の約半数が20歳～30歳代の若者で、その賑やかさに驚きである。

#### サービス業

**新潟県旅館ホテル（生同）** 前年と比較して増加6割、減少4割。増加している施設は、企画商品などで入込が増加している。インバウン

ドの入込地域である湯沢、妙高地区はキャパシティが決まっており、前年並みである。

**新潟県広告美術業（協）** 今年は新潟市以外が雪で大変だった。選挙も短納期だった。

**新潟県建築設計（協）** 次年度への繰越が見込まれる契約もあるが、受注額は前年比の5割増しとなっている。

**新潟県ビル管理（協）** 予算が厳しく減額を要求され、人件費が上がっているなか、仕様変更で対応するしかない状況が増えている。

#### 建設業

**新潟左官工事業（協）** 前年度と比べると左官の仕事は減少している。新潟市内の現場、またその近郊の現場が多少増えてきてはいるが、昨年の仕事量にはかなわず、繁忙期と閑散期の差が人手不足と相まって辛い状態である。

**上越住宅建築事業（協）** 降雪の影響で現場の除雪費がかかり、利益が圧迫された。

#### 運輸業

**赤帽新潟県軽自動車運送（協）** 売上・収益は、増加・好転の月であった。組合員の人数がまだまだ足りていない状況である。忙しくなれば配車が大変な状況になる。組合員を増やす努力をしていきたい。

**（一社）新潟県ハイヤー・タクシー協会** 今回の12月の運賃改定は10%前後の改定率となり、全県での運賃改定となった。今回の運賃改定の特徴の1つは、全県で7割のタクシー会社が100円から200円の迎車回送料金を設定したことである。各地区での運賃改定に関する利用者の反応を聞いているが、今年は降雪量が多く寒い日が多かったせいか、理解が得られているとの声が多く聞かれている。

#### その他の非製造業

**村上市岩船郡少利（協）** 年度末に補正予算による公共工事が発注されているが、発注数は少なく、骨材を使用する工事も少ない。

**長岡砂利採取販売（協）** 令和8年2月度の骨材生産量は、前年同月比で111.2%、1月～2月までの前年累計比で121.4%であり、主納入先の生コン需要が反映している結果と思われる。一方、本年1月1日から施行された「取適法」、4月1日から施行される「違法白トラ規制強化」の影響などを注視したい。

## 新潟県の経済前線

第四北越リサーチ&コンサルティング株式会社

### 2月期 緩やかに持ち直している

#### 概況

設備投資と個人消費は持ち直している。一方、住宅投資は弱含んでいる。総じてみると、県内経済は緩やかに持ち直している。

#### 生産活動

横ばいで推移している。

電子部品・デバイスは生成AI関連の製品が好調であり、緩やかに持ち直している。食料品は量販店向けで底堅さがみられるものの、増勢が鈍化している。汎用・生産用・業務用機械は省力化製品などが堅調である一方、建設工事の長期化により、建設機械などの出荷が停滞していることから、横ばいで推移している。金属製品は建築用製品や家庭向け調理器具などを中心に、弱めの動きがみられる。

#### 設備投資

持ち直している。

製造業では、省力化を図る企業が増えているほか、食料品で需要拡大に伴う生産能力増大や工場新設のための投資がみられ、投資額は前年比増加となっている。

非製造業では、サービスで事業所の建設などの投資額が増えているものの、小売や卸売で前年に大規模な投資があった反動が出ており、全体の投資額は前年を下回っている。

#### 雇用状況

横ばいで推移している。

1月の有効求人倍率(パートタイム含む全数・季節調整済)は1.37倍となった。前月比0.01ポイント低下し、2カ月ぶりに前月を下回った。

1月の新規求人数(同・実数)は医療・福祉などの減少により、前年比2.9%減となった。6カ月連続して前年を下回ったものの、労働需給の逼迫は続いている。

#### 個人消費

持ち直している。

1月の小売業販売額(注)は前年比2.7%増となった。百貨店・スーパーなどが増加し、11カ月連続で前年を上回った。

2月の乗用車(軽含む)新規登録・届出台数は前年比6.3%増となり、2カ月ぶりに前年を上回った。

#### 住宅・公共投資

住宅投資は弱含んでいる。

1月の新設住宅着工戸数は前年比14.9%減となった。分譲や持家の減少により、2カ月ぶりに前年を下回った。

公共投資は横ばいで推移している。

1月の公共工事請負金額は前年比39.8%減となった。市町村などの発注が減少し、3カ月連続で前年を下回った。

(注) 小売業販売額：経済産業省「商業動態統計」の百貨店・スーパー、家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター、コンビニエンスストアの全店販売額を合計したもの。

## 『にいがた中小企業情報』へ情報をお寄せください！

新潟県中小企業団体中央会では、本誌を組合活動のPRにお役立ていただくために、組合の特色のある取組みやイベント、記念事業、各種研修会開催等の情報を随時募集しています。是非情報をお寄せください。

また、組合で取り扱っている商品など、表紙に掲載する写真も募集しています。

※誌面スペースの都合上、掲載時期や内容等を調整させていただく場合がございます。



わたしたちは  
Happy・パートナー企業の  
一員です



わたしたちは  
イクメン応援プラス認定企業の  
一員です



わたしたちは  
持続可能な開発目標(SDGs)に  
取り組んでいます

## 新潟県中央会 4 月 行事予定

名称	日程	会場等	お問い合わせ先
法律相談窓口	16日(木)	中央会会議室 (対面又はオンライン)	各組合担当者
監査会	20日(月)	中央会会議室	総務企画課
正副会長会議・理事会	30日(木)	新潟グランドホテル	総務企画課

3月18日時点で把握している情報を掲載しています。

※当情報誌(にいがた中小企業情報)にて、**貴組合をPRしてみませんか?** 【お問い合わせ先】 当会 総務企画課 TEL:025-267-1100